

事例分析シート

現在の虐待の判断状況	緊急性の判断状況
心理的虐待あり 身体的虐待疑い	現時点で、緊急保護までは必要ないが、 身体的虐待が暴発する可能性がある
ジェノグラム・エコマップでの事例状況のまとめ	
時系列での事例状況のまとめ	

I 背景・要因	高齢者本人の因子	養護者・親族の因子	関係性・世帯の因子
	☐ 認知症の症状 ☐ 判断能力の低下 ☐ 認知症の行動・心理症状 ☐ 介護への抵抗 ☐ 不意の外出で迷う ☐ 弄便・失禁 ☐ その他（ ） ☐ 医療依存度の高さ ☐ 経済的困窮 ☐ パーソナリティの偏り ☐ 慣れ・あきらめ・罪悪感 ☐ 支援の受け入れへの抵抗感 ☐ その他（ ）	☐ 介護負担（ ） ☐ 認知症等疾患への理解不足 ☐ 支援の受け入れへの抵抗感 ☐ 自身の心身の疾病・障害 ☐ 依存・アディクション ☐ パーソナリティの偏り・思考の癖 ☐ 介護への強い思い／こだわり ☐ 経済的困窮 ☐ 就労困難・無職 ☐ 金銭管理能力 ☐ 孤立した介護 ☐ 暴力・虐待を肯定する価値観 ☐ その他（ ）	☐ 暴言・暴力の容認 ☐ 要介護状態、高齢期になる前からの折り合いの悪さ（DV・児童虐待等） ☐ 住環境の問題 ☐ ケアを必要とする人が複数 ☐ 力関係の逆転 地域・支援者側の因子 ☐ 認知症の理解・介護への関心の不足 ☐ 指導的言動 ☐ 先入観や偏見 ☐ 個別性を無視した支援 ☐ 支援者の抱え込み ☐ 意思決定支援の不足
備考（その他やまとめ）			
II 強み・ストレングス	高齢者本人の強み	養護者・親族の強み	地域・支援者の強み
	受け入れることができていること	受け入れることができていること	受け入れることができていること （地域との交流はない）
	表すことができていること	表すことができていること	表すことができていること （地域との交流はない）
	がんばっていること	がんばっていること	がんばっていること （地域との交流はない）
より強みが活かせるような支援			
III 構造・パターン	① どのような構造で虐待が生じているか？ ② 繰り返されている行動パターンは？ ③ 受け入れにくい支援のパターンは？ ④ 受け入れやすい支援のパターンは？ ⑤ 今までに世帯・家族で問題をうまく乗り越えられた時の状況は？		
IV リスク予測	（このままの状態だと）今後、どのようなリスクが生じられると思われるか？ Bの不満が溜まっているため、BからAの暴言が増し、BからAへの激しい暴力が生じる可能性がある。 Bがこっそりと外に出るなどにより、Bが事故に遭う可能性がある		

ワークシート8 記入例

事例分析シート

現在の虐待の判断状況	緊急性の判断状況
心理的虐待あり 身体的虐待疑い	現時点で、緊急保護までは必要ないが、 身体的虐待が暴発する可能性がある

ジェノグラム・エコマップでの事例状況のまとめ

時系列での事例状況のまとめ

I 背景・要因	高齢者本人の因子	養護者・親族の因子	関係性・世帯の因子
	☒ 認知症の症状 ☒ 判断能力の低下 ☐ 認知症の行動・心理症状 ☐ 介護への抵抗 ☐ 不意の外出で迷う ☐ 弄便・失禁 ☐ その他（ ） ☐ 医療依存度の高さ ☐ 経済的困窮 ☐ パーソナリティの偏り ☐ 慣れ・あきらめ・罪悪感 ☐ 支援の受け入れへの抵抗感 ☒ その他（「迷惑をかけてはいけない」という思い）	☐ 介護負担（ ） ☐ 認知症等疾患への理解不足 ☐ 支援の受け入れへの抵抗感 ☒ 自身の心身の疾病・障害 ☐ 依存・アディクション ☐ パーソナリティの偏り・思考の癖 ☐ 介護への強い思い／こだわり ☐ 経済的困窮 ☐ 就労困難・無職 ☐ 金銭管理能力 ☐ 孤立した介護 ☐ 暴力・虐待を肯定する価値観 ☒ その他（養護者自身の孤立、自立した生活への支援の不足）	☒ 暴言・暴力の容認 ☐ 要介護状態、高齢期になる前からの折り合いの悪さ（DV・児童虐待等） ☐ 住環境の問題 ☐ ケアを必要とする人が複数 ☒ 力関係の逆転 地域・支援者側の因子 ☐ 認知症の理解・介護への関心の不足 ☐ 指導的言動 ☐ 先入観や偏見 ☐ 個別性を無視した支援 ☐ 支援者の抱え込み ☐ 意思決定支援の不足
備考（その他やまとめ） 本人の夫（養護者の父）による「死ね！」などの暴言、お仕置きという形でつねる行為が、世帯の中で常態化していた。			
II 強み・ストレNGTHS	高齢者本人の強み	養護者・親族の強み	地域・支援者の強み
	受け入れることができていること 介護サービスや、娘の障害者手帳取得など支援 表すことができていること 支援者に、自分の母としての思いを表すことができる がんばっていること Bの養育・貯金を、がんばってきた 近隣を気にすることができる	受け入れることができていること 他者の訪問、新しい関係を喜ぶ 表すことができていること 表情や言葉による表現が豊かになってきている、母に元気になってほしい がんばっていること 「お仕置き」はダメだと我慢することができる	受け入れることができていること （地域との交流はない） 表すことができていること （地域との交流はない） がんばっていること （地域との交流はない）
より強みが活かせるような支援 「お仕置き」の悪影響を伝え、母としてのがんばりが、「お仕置き」に向かない形となるよう、共に行動変容の方法を考える			
III 構造・パターン	① どのような構造で虐待が生じているか？ ② 繰り返されている行動パターンは？ ③ 受け入れにくい支援のパターンは？ ④ 受け入れやすい支援のパターンは？ ⑤ 今までに世帯・家族で問題をうまく乗り越えられた時の状況は？ 当てはまるものがある場合に、番号を書いて、下記に記入する		
	② Bが外に出られない・孤立している→Bが「外に出る」など言いつけをやぶる→Aが激しく長く叱責する→Bが大声で泣く「死ね！」と騒ぐ→AがBをつねる→（BからAへ???） Bの孤立の解消、Aの言いつけの見直し、Aの叱責の方法等を提案できるのではないかな？		
IV リスク予測	（このままの状態だと）今後、どのようなリスクが生じると思われるか？ Bの不満が溜まっているため、BからAの暴言が増し、BからAへの激しい暴力が生じる可能性がある。 Bがこっそりと外に出るなどにより、Bが事故に遭う可能性がある		